

MeSo

医療の
仲間

Medical Care & Social Welfare

わたしたちは言語聴覚療法士(ST)



向きあう患者さんと 葛藤の日々

私たちの仕事は、言語聴覚療法士（S
T）と言って、1999年から新たに国
家資格となった仕事です。仕事の内容
は、主にえんげ困難・失語症や構音障害
といった、発声や飲み込み等に問題を抱
えている人たちの、相談や評価・訓練
といったことです。相談では深刻な
ケースもあって、その人の最期
をどのように迎えるのかとい
うことで、本当に悩むこと
がたびたびあって、葛藤の
日々です。私たちの今の
願いは、STとしての技
術の向上と、ゆとりと余
裕のある仕事をしたいと
いうことです。

京都市民医労働支部

志藤 良子、花田多香子

石川恵津子、山下 明宏

(京都市民医連第二中央病院)

もくじ

●2P
青年一揆・プレアクト

●3P
請負労働者は見た！
ヒューマンユニオンだより

●4～5P
ひろこのNPT報告

●6P
時には音楽
トークプラザ

請負労働者は

見た!!

請負会社の壮絶バトル

私は今某大学医学部付属病院の当直業務の仕事をしています。そこは、毎年請負の入札を行います。今年、病歴部門を、私を雇っている会社が受注しました。ところが、それまで病歴部門を受注していた会社の労働者が一斉に退職してしまふという事態になってしまいました。

業務開始まで10日余りの時間しかありません。それまでの会社は、業務の引継ぎはするが、教育はしないという態度を崩さず。

しかたなく、我が会社は、新人たちで、請け負った業務ができるのかどうか、実際に行っている業務を見学することにしました。

新たに採用した新人と、関西近県の大学付属病院で請負業務を現にしている労働者をかき集め、病歴室に乗り込むことになりました。新人たちは、朝一番のカルテだけから、見学していたそうですが、空気は険悪、ピリピリしていたそうです。

乗り込んだのは、本社員と登録社員合わせて、10名程。現場の仕事の邪魔にならないように遠慮しつつ、仕事をとれるのかどうかの瀬戸際で、小さくなるなど激が飛び。

迎え撃つ労働者も、笑顔を浮かべつつ、どこか尖っている。なんとも、やりきれない空気が漂う。

請負会社が変わることで、どのような事情があるかわからないけど、仕事を辞めざるを得なくなつた人も、突然仕事を失うことになり困るだろうな。

新しく請け負った会社の、これからの仕事をしようとする人も、

充分教育をうけずに仕事をしなければならなくなるのは不安だろうし、これまでの労働者を退職に追い込んでしまうような状態で、仕事を始めるのも、嫌なもの。

結局は、請負会社を競わせ、現場の労働者を争わせ、費用を切り下げ、経費削減だ！効率化だ、と悦に浸っている、人がどこかにいるのでしょ。

(匿名)



ジョーベズ

ヒロシです。ふと気がつけば、GWが終わっていました。ヒロシです。ヒロシです。大病院の日当直業務を請けおつとります。

ヒロシです。4月29・30日は日直をしたとです。ヒロシです。5月1日は日直をしたとです。

ヒロシです。5月3・4日は日直・

ヒロシです。5月5日はまた日当直をしたとです。

ヒロシです。5月6・7日は当直日直をしたとです。

ヒロシです。8日も日直をしたとです。

ヒロシです。ずっと、飯を食うことと、寝ることだけを考えていたとです。

ヒロシです。給料日が楽しみです。ヒロシです。ヒロシです。ヒロシです。嬉しです。悲しです。ヒロシです。

京都ヒューマンユニオンだより

● 継続中の事例です。

先日、伏見区の開業医に10年も勤めておられた事務の2人が相談に見えました。昨年、院長が亡くなって別医師が院長に就任。前院長夫人、娘さんも法人役員で残られ職員身分も引き継ぐという条件の下で年末に「一旦、退職金の精算」がされました。

1月下旬になって1月5日付の雇用条件通知が交わされ、勤務や賃金は従来通りでしたが、有給休暇は新採用扱い、退職金は無しにされていました。3月上旬には院長から「パート勤務に」と話があり、理由や具体的内容を書面でも要求しても応じず、それ以後は挨拶もせず、全く無視する態度を取り続けました。

1月下旬になって

結局、3月末に「退職する」と言っていました。

職の前に「労働組合」を思い付かれていたらと思うと、残念で仕方ありません。

退職金は整理し有給休暇も取り上げ、後に尾を引く紛争の種を刈り取り、その上で低賃金で退職に追い込むという、狡猾なやり方です。

辞めようと思う酷い職場には、必ず不法行為があります。「辞めると言う前に組合に相談を」とこの声を広げてください。



核兵器廃絶へ世界が動く！ ひろこのNPT参加報告

4万人のパレードに感激 約500万筆の署名提出



ワールドトレードセンター

5月1日
(日)

ニューヨーク行動の日。朝から降りだした雨にも負けずに国連前で署名行動。始めは緊張で声もなかなかかけられなかったけど、声をかけてみるとみんな気軽に応じてくれます。じっくり文を読んでからOKとサインしてくれることに驚きと感動を覚えました。

ニューヨーク2日め。朝から降りだした雨にも負けずに国連前で署名行動。始めは緊張で声もなかなかかけられなかったけど、声をかけてみるとみんな気軽に応じてくれます。じっくり文を読んでからOKとサインしてくれることに驚きと感動を覚えました。

5月2日
(月)

ニューヨーク2日め。国連見学に行きました。セキュリティのすごさにびっくり。肝心の会議傍聴ができません。その後自由の女神・グラウンド・ゼロも見学しました。その後青年の集会に参加。様々な取り組みが行われていることを知り決意を新たにしました。

5月3日
(火)

3日め。午前中は少し時間があつたため、メトロポリタン美術館へ。規模の違いに感動しながらも芸術にふれました。その後の集会で世界の平和を願う人々の発言を聞き、アメリカをはじめ世

界中で草の根運動が始まっていることを実感できました。また、日本以外の方が9条を知っていたり、守る運動ができていたりすることなどを聞き、驚きと恥ずかしさを覚えました。



国連前で署名行動

わたしの決意

今回の会議でどこまで進むのかと期待しての参加でしたが、本当に残念な結果になり悔しい思いでいっぱいです。会議の中で改めてアメリカが核軍縮の障害になっていること、日本がそれに同調していることに本当に恥ずかしい思いと怒りを覚えました。世界の運動の進み具合を知ること、日本の運動が遅れていることを本当に痛感しました。また9条についても、色々な国の方からしっかり守ってほしいという声をかけられる中で、日本政府の対応に情けない思いをし、唯一の被爆国として、日本が果たす役割が重要だということを再認識させられました。今回のこの行動で、世界中で平和運動が広がっていることを実感することができ、強い感動を覚えたいけるように努力していきたいと思えます。

被爆60年



NPTニューヨーク行動の

確信を 世界大会へ



国連本部前

被爆60年の核兵器廃絶運動の前半の焦点は、NPT（核不拡散条約）再検討会議でした。この会議にむけて日本からは1000人、日本原水協から800人、京都からは37人の代表がニューヨークに結集しました。今回のニューヨーク行動でもっとも注目を集めたのはこの日本のNGOでした。広島・長崎市長、自治体、被爆者、反核平和団体、市民団体など日本のNGOが、それぞれの役割を發揮しながら連携し、世界を励ました。

会議はアメリカの妨害で最終合意にはいたりませんでした。しかし、ここに示されたのは核超大国アメリカの孤立とともに、核兵器廃絶を追求する確固とした世界の流れでした。2000年の「核兵器廃絶の明確な約束」の合意の実行を求める各国政府と世界のNGO、アメリカ市民のエネルギー・一体感は見事で、世界の反核運動では初めてのことで、合意がなされなかったことに核兵器廃絶を求める人々は落胆していません。「次は世界大会です」と世界のNGOの代表は確信に満ちてニューヨークを後にしました。

NPT会議をうけて被爆60年の原水爆禁止世界大会への熱い期待がひろがっています。海外代表の数は例年の4〜5倍、300人を超える勢いです。これを受けて全国でも「核兵器なくせ」「憲法9条守れ」の機運が高まっています。21世紀をになう若者も元気です。核兵器廃絶の流れをもっと強く、広くこの期待にこたえた歴史的な世界大会を私たちの力で成功させましょう。

京都原水協事務局長 小杉 功

時には音楽

No.9

ベートーヴェン作曲
交響曲第9番二短調
作品125「合唱」③

時は流れてベートーヴェンの第9の初演から約110年後、アドルフ・ヒトラーが政権をとった年、1933年のドイツ。2人の著名な指揮者がしごきを削りながら、オーケストラや楽団での音楽活動に邁進していました。2人の名前はウイヘルヘルム・フルトヴェンクラールとブルーノ・ワルター。かたや、ベルリンフィルの指揮者でその当時のドイツではおしもおされぬ音楽界きってのトップスター。もう一方はユダヤの血をひく著名な作曲家であり、指揮者であったグスタフ・マーラーの愛弟子で、自らもユダヤの血をひく名指揮者。この2人にも、ヒトラー、ナチスの政権下で生きていたが故に、多くの困難と災難がふりかかって来ました。最初に自らの身辺に異変が生じたのは、ブルーノ・ワルターでした。

ブルーノ・ワルターは1876年ドイツ生まれ。ユダヤ人の一家で育ち、幼少の頃より彼が言うには、まさに「音楽に満ちあふれた」中での生活を送り、音楽家への道を進んでいきます。その過程の中で、ユダヤ人の音楽家である、グスタフ・マーラーの薫陶を受けて、ドイツやオーストリアの著名なオーケストラや歌劇場の指揮者として名声を博していきます。彼の得意としたレパートリーは、主にモーツァルトとマーラーの曲で、ベートーヴェンの第9についてもいくつかの録音を残しています。私が持っているCDでは、ワルターの最晩年にあたる1959年の録音です。その時、彼の年齢はすでに83歳。すべてを汲みつくしたともいふべき、実に落ち着いた朗々とした演奏です。

ヒトラーの迫害とたたかった音楽家

1933年、ワルターは長いアメリカでの公演からドイツに帰国します。帰国した彼を待ち受けていたものは、一通の通告でした。「当方としては演奏会の禁止を望んでいるわけではありませんが、あなたを窮状から救い出すことにも関心はありません。しかしもしあなたが演奏会を強行すれば、会場の中はめっちゃめっちゃになることは覚悟して下さい。」という内務省からの連絡でした。演奏会の上演プログラムが警察の命令を理由にして禁止されたり、「ブルーノ・ワルター演奏会」がナチス当局によって禁止されたその矢先の出来事でした。内務省からの通告は、彼に對するまさに最後通牒そのものでした。彼がこのような迫害を受けたたただ一つの、そして唯一の理由は、ブルーノ・ワルターが、ユダヤ人であったからです。ナチスが支配するドイツに、ユダヤ人であるブルーノ・ワルターが生きる場所がなくなってしまっていたのです。

祖国ドイツを追われたワルターは、命からがら隣国のオーストリアに逃れました。しかし、かつてベートーヴェンも闊歩していた音楽の都ウィーンがあるこの隣国オーストリアも安住の地でなくなるのに、それほど時間はかかりませんでした。ウィーンの地にもナチスが触手を伸ばして来たのです。コンサート会場に、いっせいに悪臭ガス爆弾が投げ込まれたり、殺人の脅迫状を受けたりもしました。しかし、ワルターは怯みませんでした。悪臭ガス爆弾が投げ込まれた時、彼はワグナーの楽曲「トリスタンとイゾルテ」を上演中でした。「上演を妨害したという勝利をナチスに与えたくなかったので、(中略)最後まで上演したのである。」このようにワルターは語っています。

その後、ワルターはフランスのパリに逃れますが、ここもナチスに占領されてしまいます。やがて彼は、大西洋を越えて海の向こうのアメリカへと渡って行きました。

川上 裕光(京都市民医労)



初めてお便りします。すみからすみまで読みました。なかなかおもしろかったです。

編集部だよりのヒロシですに拍手です。

わが家でこんな会話がありました。皆さんはどう思われます？
ルルルーと電話。

母(私)「はい、高校生受験向けの塾?! ああ私のところは必要ないですよ。ところであなたはどこの方？(相手は若い青年の声) 立命の学生さん？」

私のとこの電話番号どこで知ったの？4月から個人情報保護法が施行されているの知ってる？あなた他人の電話番号を買ったからってやたら

トークプラザ

にかけてくると罰せられるよ。そんなバイトやめてちがうことしたら(先方、ガチャリと切る)

子(中学生)「お母さんやめてよー。」

みっともない」
父(夫)「そんなこと言って、逆うらみされるでー。必要ありませんでヤメトキヤ!!」

私は56歳。おせっかいやきですけど必要だと思ってやっているのです。つまり意識的に相手に働きかけているのです。今の日本、おせっかいをする人がだんだんと少なくなってきている気がしている。おせっかいが必要だと思うのですが、若い皆さんどう思われます？

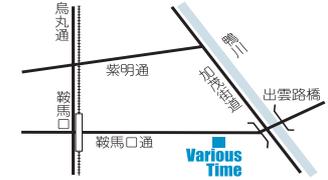
丹所紀代子(民医労上京支部)

コーヒー or
ソフトドリンク
1人1杯無料

Various Time

カフェ&ダイニングの店です。コーヒーはネルドリップで、1杯ずつ入れています。パスタや丼、手作りのおばんざいも出しています。もちろん生ビールもあります。席数1階10席、2階6席です。

〈営業日〉
月～金 8:00～20:30
土、日、祝 12:00～22:30
不定休ですのでぜひTELしてお越しください。
社会保険京都病院の富田さんのお店です。



場所 北区鞍馬口通寺町東入2丁目
鞍馬口町316-2
電話 075-211-2734
※クーポンの有効期限は9月末日まで。
オーダー時にご提示ください

Meso読者のための企画。クーポンを使用のお店(飲食店)募集しています。

■6月27日(月) 京都准看護師移行教育情報センターとして、京都府議会各党派と京都府に要望書「養成所開設、支援対策、制度一本化」を提出しました。
京都府健康・医療総括室医療室伊井室長に知事宛の要望書と「2年課程通信制養成所の早期開設を求める」団体署名26団体・個人署名578筆を提出。
木村医療室副室長と内容等について若干懇談を行いました。行動には、情報センター久保田事務局長、澤事務局長、勝野民医労委員長、医労連松本書記長・森田が参加しました。引き続き懇談等行っていきます!



■7月9日(土) 株式会社京都支社メディカル事業部参与部長の辰巳孝氏を講師に迎えた、給食対策委員会の学習会に28人が参加しました。

参加者からは、「企業として利益を上げるため、患者さんの満足度に関して私たちよりシビアだと思う」、「委託への危機感について、病院内だけでなく広く団結していきたい」、「地域の患者さんと一緒に運動することも大事」などの感想が寄せられました。



7オト通信

■6月17日(金) 保育園のグラウンドを借りて宇多野支部青年部主催のバーベキューを行いました。組合員でない人や保育園の子ども達も含め、約30人が参加しました! 子ども達と遊び、お腹もいっぱいになってリフレッシュできました。先輩や他部門の人、他の病棟の人とも楽しく交流・情報交換することができたため、気軽に悩みや疑問が相談でき、働く意欲につながったと思います。またこういう企画を立ててたくさんの人と交流していきたいです!



掃除機を買いました。数年前から、来月の給料で…次の一時金がでたら…と、なかなか踏み切りがつかなかったのですが、ついに買いました。今までの掃除機「1982年製」。ちよつとビックリ。23年使いました。1人暮らしを始めたときは、洗濯機、冷蔵庫、テレビ、タンス…、人から貰いました。

編・集・部・だ・よ・り

冷蔵庫は都合よくおさがりが続きましたが、6年前の引越しのときに初めて自分で買いました。2年前に電動自転車欲しくなり、1年分のタバコ代で買えると計算してタバコをやめました。これからの生活を思うと、ますます「洪ちゃん」になります。



■7月9日(土)、しょうざんボウルにて、太秦病院労働組合のボウリング大会が行われ、組合員やその家族31人が参加し、ボウリングや交流会で、熱いひとときを楽しみました。豪華賞品(アクトTシャツ?)も用意され、壮年組は、1ゲームで上位にいましたが、悲しいかな、日頃の体力の差で2ゲームは、がた落ち。優勝賞品は若者にさらわれました。この大会を通じて、日頃の他部署間の距離が縮まり、職場や組合の話で盛り上がりました。